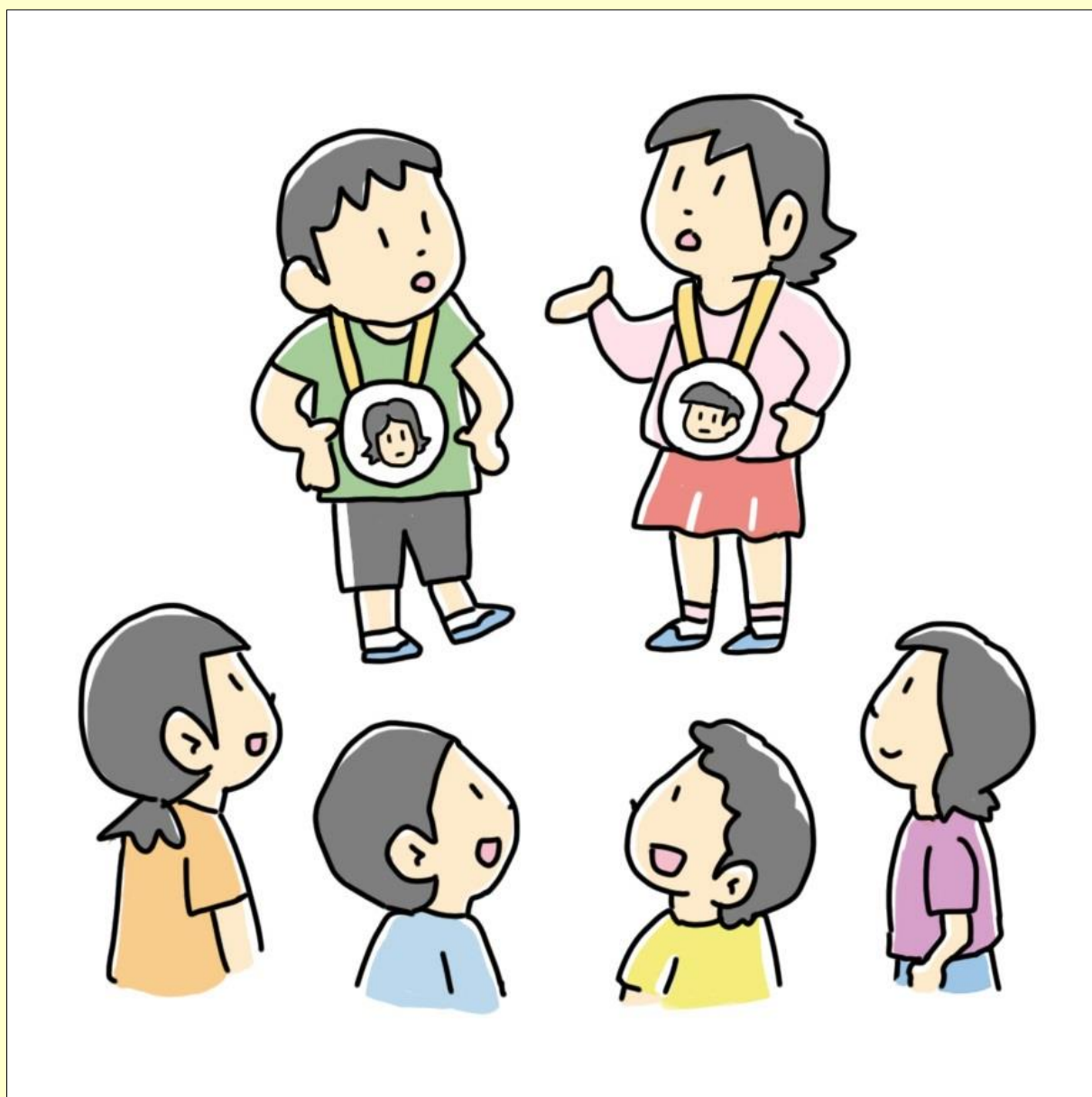




役割演技ガイドブック





～はじめに～

本ガイドブックは、「役割演技を授業で取り入れてみたい。でも具体的にどうすればいいのだろう？」と悩んでいる先生方のために、具体例を挙げながら、役割演技の指導の方法を分かりやすくまとめた入門書です。児童がすすんで学び、自分の生き方について考えを深める授業の実現に向けて、ぜひガイドブックを活用ください。

目次

- 1 役割演技とは？ ① ～どのような活動？～
- 2 役割演技とは？ ② ～動作化との違い～
- 3 役割演技の形態例
- 4 役割演技の方法例
- 5 役割演技の指導過程と教師の発問例
- 6 役割演技における支援 Q&A
- 7 役割演技なりきりグッズ



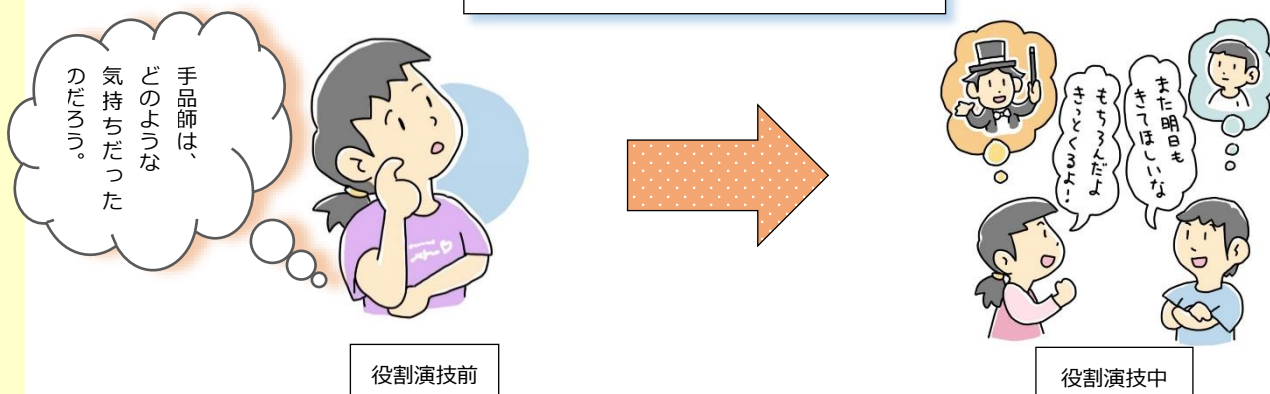


1 役割演技とは？ ① ～どのような活動？～

役割演技は、「児童に特定の役割を与えて即興的に演技する」表現活動であることが道徳科の学習指導要領解説に示されています。

つまり、台詞などをあらかじめ準備しておくのではなく、役になりきって感じたままに話したり、動きを付けたりして、表現する表現活動です。

「手品師」の教材で役割演技をする場合



2 役割演技とは？ ② ～動作化との違い～

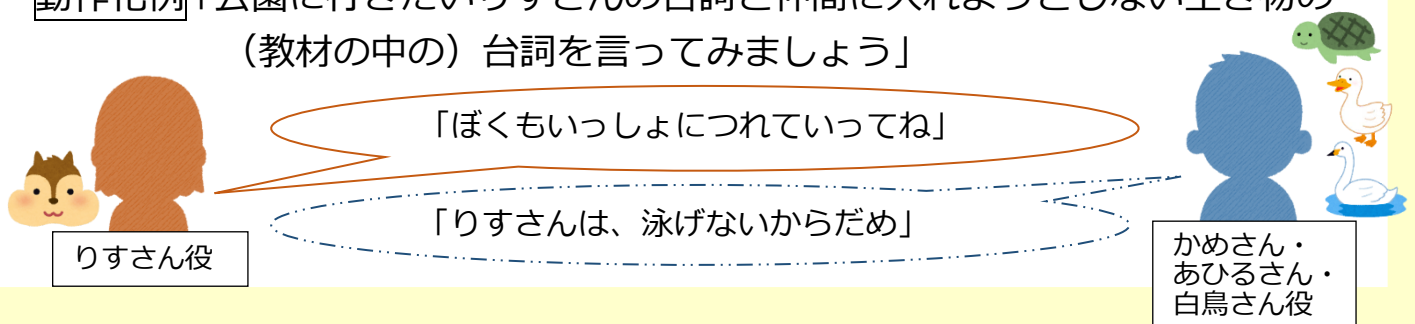
動作化は、教材文の中の動きや言葉を模倣する表現活動です。低学年や役割演技に慣れていない学級を対象とする場合は、動作化から始めることで、表現することへの苦手意識を減らすことができます。

文部科学省「わたしたちの道徳 小学校1・2年」

「およげないりすさん」【内容項目C 公正、公平、社会正義】より

ねらい…仲間外れにしてしまうときの気持ちや仲間外れにされたときの気持ちを考えさせる。

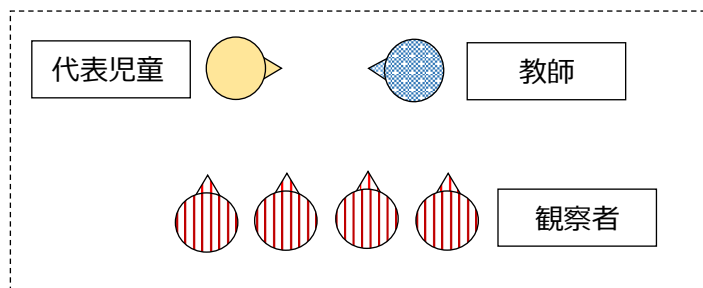
動作化例「公園に行きたいりすさんの台詞と仲間に入れようとしない生き物の（教材の中の）台詞を言ってみましょう」





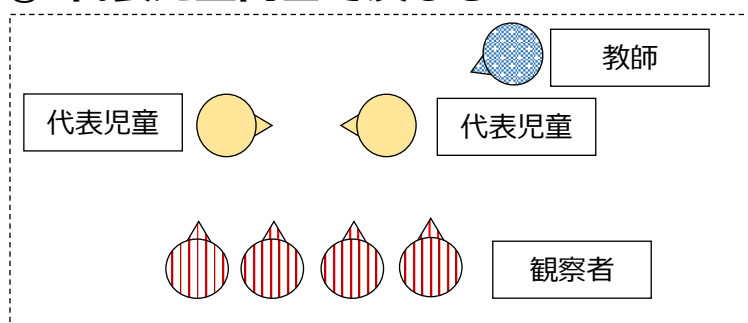
3 役割演技の形態例

① 代表児童と教師で演じる



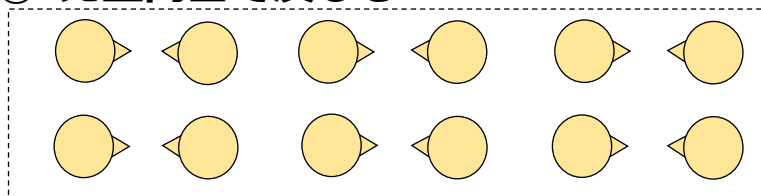
教室前方で、代表児童と教師が演じます。代表児童以外の児童は、観察者となります。教師が演技に直接関わることができるので、役割演技を取り入れる初期の頃は、こちらの形態がおすすめです。

② 代表児童同士で演じる



教室前方で、代表児童同士が演じます。代表児童以外の児童は、観察者となります。教師は、代表児童の後方で、必要に応じて助言・支援をするとよいでしょう。

③ 児童同士で演じる



二人組や三人組になって、児童全員が演じます。教師は、机間指導で助言をしたり、全体で取り上げる考えを見取ったりするとよいでしょう。いつも同じ友達と二人組や三人組にならないようにするなど、メンバー構成には配慮が必要です。



～指導のポイント～

役割演技の開始と終了の合図

「役になりきっているときの自分」と、「自分」を児童が区別することができます。手を1回叩いたり、ベルやカチンコなど音が出るものを使ったりして合図にしてもよいでしょう。

演技の評価で大切なこと

演技が上手な児童は注目されがちですが、役割演技は、演技の上手さだけで評価することはしません。役割演技の目的は、道徳的価値の理解を深めることにあります。つまり児童の内面の考えが大事だということです。観察者は、演技者の演技を見て、自身の考え方や感じ方を再認識します。観察者には、役割演技をするねらいや演技者の台詞や動作、表情などからどのようなことが考えられるか演技を見る視点を具体的に示すことが大切です。

役割交代の効果

互いの役を交代して演じることで、どちらの役の立場にも立って考えることができます。ただその分時間がかかってしまいます。ねらいや時間配分を考慮しながら役割交代を取り入れるかどうか考えるとよいでしょう。

話合いの場の設定

役割演技終了後等に、話合いの場を設定しましょう。自身や友達の考えを再認識したり、道徳的価値の理解を深めたりするきっかけになります。

～終了後の発問例～

「〇〇（役）になったつもりで演じて、どのような気持ちになりましたか。
（演技者に問う）」

「『〇〇』と言っていましたが、どのような気持ちだったと思いますか。
（演技者・全体に問う）」

※演技を中断して、気が付いたことなどを話し合わせる方法もあります。中断することで、演技によって引き出された考えをすぐに共有し、深めるきっかけになりますが、「演技をする」「演技を見る」意識が分断されてしまうこともあります。発達段階に応じて、取り入れてみましょう。



4 役割演技の方法例

① 児童に、役と演じる場面を具体的に示し、演じさせる方法

教材「はしの上のおおかみ」発問例

「くま役とおおかみ役になって、くまがおおかみをだっこして、橋を渡らせてあげる場面を演じましょう。」

② 児童に、葛藤場面が生じる場面を示し、2つの相反する自我を演じさせる方法

教材「なしの実」発問例

「なしの実を取ってしまったことをお父さんに正直に言おうとするアンリとごまかしたいアンリになって、話しましょう。」

※相手が言ったことに対して「でも」や「だってね」等の言葉を先に言わせて、会話を促す方法もあります。

ねらいや児童の実態、教材の特徴などに合った形態や方法を取り入れることが大切です。

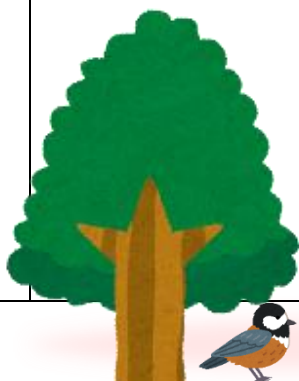




5 役割演技の指導過程と教師の発問例

～教材「2わのことり」【B 友情・信頼】で、役と演じる場面を具体的に示し、演じさせる方法～

	指導過程	教師の発問例
1	必要な条件を設定する。	「やまがらさんのお誕生日会でのやまがらさんとみそさざいさんになって、演じましょう。」
2	役割や条件に即した役割演技を行わせる。	「やまがらさんとみそさざいさんになって演技スタート。」
3	演技をやめさせる。	「演技ストップ。」
4	役割交代をさせる。	「役割交代をして、演じます。演技スタート。」
5	演技をやめさせる。	「演技ストップ。」
6	演技を終了し、演技者や観察者に考えを聞く。	「やまがらさんの役になって、どのようなことを考えましたか？」（演技者へ） 「今の演技で、みそさざいさんは、どんな気持ちで『ごめんね。』と言ったと思いますか？」（観察者へ） 「みそさざいさんに質問がある人はいますか。」（観察者へ）



6 役割演技における支援 Q&A

Q 児童が演技を恥ずかしがっています

A まずは、ウォーミング・アップを行いましょう。演技の前に、「『嫌だなあ。』と思うときの表情は?」「怒りながら歩いてみて。」「足が痛いときの様子は?」と表情や動作を付けて表現させてみましょう。また、日頃から劇のような表現活動に慣れさせておくことも大切です。学級活動、国語等でも取り入れてみましょう。

Q どのようなことを言ったらよいかと困っている児童がいます

A 「相手の話を聞いてどのような気持ちになった?」と問い掛けたり、「〇〇と〇〇だったら、どちらの考えが自分の考えに近い?」と選択肢を与えたりして、自身の言葉で話す機会をつくっていきましょう。

Q ふざけてしまう児童がいます

A 授業前に、役割演技は何のために行うのか、全体で確認するとよいでしょう。楽しく演じることとふざけて演じることの違いを伝えましょう。また、友達への冷やかしかやからかいをしている児童がいたら、毅然とした態度で指導しましょう。



Q 役割演技がしやすい教材文は、ありますか

A 児童が体験したことがあるような教材文や普段の生活が想起しやすい教材文だと、演じやすくなる傾向があります。

7 役割演技なりきりグッズ

なりきりグッズがあると、役になって演技する気持ちが高まります。また、演技する児童も、見ている児童も、役や状況を認識しやすくなります。

お面、首掛けメダルなどの他、掃除の場面の演技だったらほうき、体育の場面の演技だったらボールやゼッケンなど、場面や役に応じた小道具を用意するのもよいでしょう。

首掛けメダルやお面は、紐や工作用紙で輪を作り、クリップ（※1）や面ファスナー（※2）等で名札やイラストを留めるだけのものにしておくと、準備や片付けが楽になります。

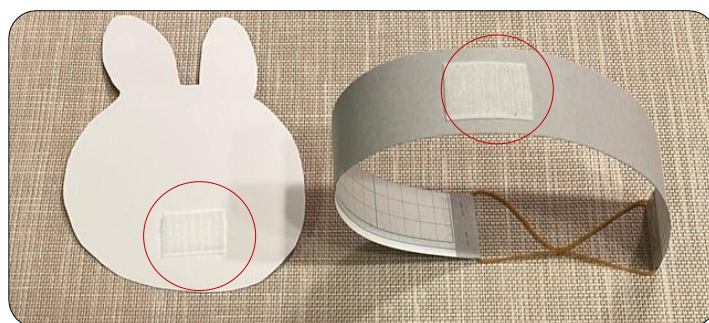
また、大型モニターに場面絵や写真を映すと、簡単に舞台をつくることができます。



※1 クリップで留める



※2 面ファスナーで留める





参考文献

- ・「特別の教科 道徳 指導読本Ⅲ 道徳科校内研修ノート～よい授業をつくりたい～」
(東京都教職員研修センター 令和3年3月)
- ・「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」
(文部科学省)

令和6年2月

教員研究生 小平市立小平第十二小学校 主任教諭 隅谷 佐知子